

# 遍路の魅力盛りだくさん

松山大生がマップ作製

## 9作目 シリーズで県内26札所網羅



松山大の学生が10年前から手掛けている、四国霊場や遍路道などを紹介する「お遍路マップ」の9作目（番外編を含む）がこのほど完成し、シリーズで県内の計26札所を全て網羅した。学生は「イラストや写真入りのマップを使って、お遍路をもっと楽しんで」と呼び掛けている。

今回は西条、四国中央両市の65番札所を取り上げた。表はタヌキのカラフルなイラストが目を引く日本語版で、裏面は海外の遍路客向けに英文と写真でそれぞれの寺の特徴を紹介。無料でA3、A4判がある。

法学部3年の窪田千海さん(20)

学生約30人が2013年8月に現地調査をスタート。3班に分かれ、遍路道や周辺を巡った。札所のない新居浜市も楽しんでもらった。美しい娘に化けていたという言い伝えが残る「小女郎狸(たぬぎ)」の石碑を盛り込むなど工夫を凝らした。英訳は約10人が議論して適切な単語などを選び、大学の米国人教師などの助言を受けて作り上げた。イラストは卒業生が描いた。

法学部3年の窪田千海さん(20)は「ただ歩いていたら見逃してしまつものも掲載した。寺は似ているがそれぞれ特徴がある。マップを活用し、じっくりと見てほしい」と笑顔。英訳担当の人文学部3年三浦真里子さん(20)は「マップは表と裏で別のスポットを紹介している。海外の人はもちろん、日本人にも勉強がてら英文の面も楽しんでもらいたい」と話している。

松山大御幸キャンパス前が遍路道になっていることから10年前に初めて製作。3作目からNPO法

エー駅舎(松山市大街道3丁目)や松山大温山会館(同市文京町)、一部コンビニエンスストアに置

NPO法人松山大学生地域創造研究所  
Museが作製したお遍路マップ